



▲ヨッ、郁也!

みやこじま 宮古島にグループホームを建設

ピースクラブ通信

No.18

発行 社会福祉法人 ピースクラブ
住所 〒556-0014 大阪府浪速区大田1丁目1-1
連絡先 Tel & FAX 06-6647-2077
Eメール peaceclub@s2.dion.ne.jp

沖繩に何か恩返しをしたいと思いつつ、一つと交流続けられる拠点作りを考えてきました。侵略とまでいかないまでも、「ええとこどり」は嫌なので、いろいろ模索した結果、Gホームを作ることになりました。

土地は朝子さんのお兄さんが譲ってくれたというので、青写真がみえてきました。設計は久高島の西銘

さんに頼んで、土地の神様と一体になるような、癒しの空間にしようと思えます。素材はもちろん、形もドーム型とか考えています。お風呂は岩盤で、島の人にも利用してもらえようなものにして、と夢はどこまでもひろがっていきます。

レストラン・ライブハウス・ヨガ教室・テナスコート、保養所も兼ねて合宿をしたりと人と人が繋がる拠点になればいいなあ。

今も世界中で戦争は

ピーコラ

私はよく思う。自分のこれまでは「できてしまった」人生だと、子供の頃だから自然に読み書きを覚え、絵が描けるようになった。それまで親の世話になつていたトイレも一人でやろうと思つたら一度で出来た。家族を離れての自活生活も何の苦労なく、初めて乗った電動三輪車で、翌日にはまだ緊張してうまく呼吸がつかないおぼつかない運転ながら隣町まで遊びに行った。出来ないほうに転ぶことの多い障害者の世界にあつて、できてしまった自分は他者に対して優しくないように思えて、ずーっと何か負い目みたいなものを感じてきた。▼そういう自分が何度目かの挫折をし、いままでの生き方とはまったく違つ

→シャンペンよ、天まで届け！



→新年会費は2000円



→さいごはエイサーさ！



起こっているし、ヤマトにいたら出遅れてしまう。沖繩・宮古と行って、侵略の芽をつむぐにたてるのではないかと、ずーっと考えてきた。

い。もっと人生楽しんで。もつと人生楽しんで。一緒に心豊かに生きるほど楽なことはない。ワツハツハツハツハツハツハツハツハツハツ前に進む。日本の政治云々で目くじらを立てるより、いい人同士繋がついていい人生を送る。

新年会楽しかった。ベツタンベツタン餅をつき、ピーヒヤラ、ピーヒヤラ歌って踊って食べて、当たり前のように進んでいく。当たり前で共生。当たり前の繋がりがあるのでスムーズ、スムーズ。子

供達もいっぱい。心豊かなところに。心豊かな風が吹く。幸せが幸せを呼ぶ。そんな1日でした。この流れを大事にしながら、本当の生き方をまっすぐに進んでいきます。

(大西洋子)

た環境のピースクラブで暮らし始めた。そうした近況を「釜ヶ崎の町に自分を見た」とある雑誌に書いたら、その文章を読んだ私をよく知る友人から「嘘つき」と言われた▼もちろんそのときの自分の気持ちに偽りはない。ただ、ずーっと抱えてきた負い日も高慢さの裏返し、というか高慢そのものかもしれない。乱暴に開き直れば、できないよりできたほうがいいに決まっている。それに挫折といってもこれまで只で起きるはずがなかった。その証拠にいまもまた新たな道を模索しているのだ▼まあ、周りに迷惑をかけ散らした人生であることは間違いないが、自分で選択したことだから後悔はない。やはり私は大嘘つきか。

(普)

せいれき 西暦2009年所感 ニヤンコ

せいれき
ん十億年の後、でつかい深紅の太陽が中天に。大地が呑み込まれるまでに、ん億年あるにしても、来たれるものは去りぬ。現生人類ホモ・サピエンスは足跡だけを残して消えているに違いない。それが拡散した核廃棄物では、わたしたち生きとし生けるものの多様な営みにとってアンマリじやないか。この弧状列島の背骨は造礁サンゴ虫の残したライムストーンでできているというのに。

地吹雪がふと息んで怖いような静けさに目覚める。マイナス10℃のテントを出ると雪一色。周りを囲む国家権力の車両も港の警備員もすべて消え、国道338号線も雪に埋もれて見えず、ワダチもなく音もなく煌々と照らし出された高レベル放射性核廃棄物搬入クレーンがそびえる。雪がすべてを粧ってキレイ。この美はヤバイ。死の静けさ。六ヶ所むつ小川原原発に背を向ければ暗い松林。雪降ちる音バサリ。営々と開拓民+役場が植えて防潮流。こちら側は生の営み。地味で雑然。どつちか選ばなきや。明日は核物質が船で

シエルブルーからやつてくる。2001年だったかの1月抗議。今年がガリレオ・ガリレイが遠めがねを天の川に向けて、星じやんか、と眩いて400年。トカラ列島キカイガ島でカイキ日食が見られる夏。曇らなければね。サンレミの人ノストラダモスの炎の大王の年1999年、ミュンヘンでみた黒い月が太陽を食う、昏くなつて風吹いて冷え込んでくる。キレイだったけど、ゾットしないものだった。2012年12月22日あたり地球第4期の終りがくるとマヤ人が昔書いてる。5300年前、喜界ヶ島カルデラ海底火

山爆発のアカハナ火山灰に追われ埋もれた古縄文人達が残した南九州の平底土器。歴史を書き変えた発見。忘れられていた、忘れられたことも忘れられていた命。
死者をいたんでオドル。欠如へ身を投げる。不在。不在ってオドルの？フル、フラレ、フレ、フルル、オドレヌオドリ。世界中いろんな人と、ひびきあえたり、あえなつたたり。チキユウのミライ。タドタドタドル。死の

静けさに魅せられることなく、ヨロヨロココロながらもタドタドタドつてサケビ、オドツテゆきたいな。フルエル、フルフリフレラフラフラー。
陰・極まれば陽となり陽・極まれば陰となる。微妙ささやかなこともまた一つのキワミを迎えることもある。火とかげの書、その手ざわりを感じてる。易はとかげの象。体色が光に応じて変わる変化の象。
(大道芸人・易者)

みやこじま 宮古島 だよ 便り

2009年、明けましておめでとうござい
ます。
さて、今年はどうな
年になるだろう？
昨年4月より始めた

太極拳は香功という基礎を1年間でマスターした。今年は8段錦と浜辺の歌に合わせ踊る太極拳をぜひマスターしたい。植物園で、深い呼吸をし、緑、青い空、鳥の鳴き声、何となく気分は中国!

毎日続ける事で締まっていくよーと明るい情報に乗せられ、毎日続けている、確かに腰が強くなった。

ひとつひとつマスターして、朝日を受けながら海辺でかっこよく踊れる日を夢見ている。5年前に、潰瘍性大腸炎という難病のハシコを押された私は、外見では分からん位デリケートに出来てい

て、この病気とどう付き合っていくかが今でも私の課題です。

体が健康であれば、何にもいらないくらい健康な体がいかに大事か、本当に身をもつて感じてみる。この頃は自分の食べるものは自分で作ろう!と今年はずっと沢山の野菜を植えている、鳥で取れる果物も出来るだけ捨てないように、泡盛や酢、黒糖に漬けて、ジャム、ケーキも作り、長命草、インカミント、クミスクチン、等の薬草も少しずつ増やしている。沢山の野菜と薬草で今年はずつと酵素も作ってみたいと思っている。病気がこれで完璧に

治るとは思っていないが出来る限り病院の薬に頼らずに生きていきたいらと思っている。

私の母親は76歳、雨水を溜めてやかんで沸かし、私が乾燥させた長命草、インカミント、レモングラス、の薬草をブレンドして毎日飲んでる。雨水は軟水でとてもおいしい。水で病気になった事ないからまず大丈夫だと思いが、買ってきた水はまずくて飲めないと言っている。その母親、今年に入って風の強い日に2度もスクーターの下敷きになった。幸いエンジンには動いてなくて、風でよろめいたらしい。道行く人に「バヌー

これからのスケジュール

- 2月10日(火)～11日(休)
・蟹かにツアー第2班
- 2月14日(土)
・グループホーム学習会
- 2月中旬・佐渡山豊 & マサライヴ
- 3月14日(土)～15日(日)
・沖縄伊江島・阿波根学習会
- 3月下旬・ふるじーずライブ

タスキフィール(私を助けてー)と助けを求めたらしい。バイクは危ないからもうやめなさい!と電動のスクーター持ってきて、受け入れられないのかいっこうに触ろうとしない。父親が生きている頃、父親の車をバイクで抜き去るほどスピード狂らしい。しかしこのヤンキーオ

パーティーまでバイクに乗るんだらうか?今年もサトウキビ刈りが始まった、芋堀の方が忙しい様で今年機械で刈る方が多いようだ。76歳の母親もまだまだ現役、私も負けてはいられない!体の調子と相談しながらいろいろな事に挑戦して行きたいと思う。

(あきこ)